

# はっぴいもーる熊野前商店街探検ツアー

開催日時：2018年3月17日(土) 10:15～13:00  
 開催場所：熊野前商店街(スタート&ゴール『熊まねき堂』)  
 参加人数：37名(小学生15名・スタッフ18名・保護者他4名)  
 主催：荒川区まちづくり『コープのなかま・荒川』  
 コープみらい・東都生協・パルスシステム東京・東京ほくと医療生協・東京ふれあい医療生協・  
 東京都生協連・荒川区社会福祉協議会  
 協力：熊野前商店街のみなさま



- 企画目的**
- ①地元の子どもたちが自分の住む地域にある商店街を知り、またその店主との交流を通して商品について学ぶこと。
  - ②地域の子どもから大人まで誰もがイキイキと暮らせるまちづくりとなるひとつのきっかけづくり。
  - ③生協同士、また地域と生協で連携して出来ることを考えあう機会。

## スタート前



↑  
石坂さん

司会のふれあい医療生協の野島さんの進行で企画はスタート！  
 今回この企画を実施するにあたって、始めから色々な面で協力していただいた熊野前商店街副理事長の石坂渉さんよりご挨拶をいただきました。この商店街のことを好きになってほしいと願う石坂さんの想いが子どもたちに通じたのでしょうか。みんな熱心な顔つきで石坂さんのお話をきいていました。その後、ひとり一人に渡された『冒険の書』を手に作戦タイム。グループごとに隊長を選出し、いざ出発！



←司会の野島さん

### A チーム「熊まねき堂」

#### むさしのあられ山口商店

大正15年創業の歴史あるお店です。手間ひまかけて作り上げる商品の中で人気なのは『白糸』。また寒い時期には『柿チョコ』もよく売れるそうです。子どもたちへのプレゼントは『スイートコーンおかき』でした。



#### くすりのミナト

病気の相談はもちろんのこと、病気にならないような生活が送れるようにアドバイスをおこなっているという頼りになる街のお薬屋さんでした。



### B 「フィッシャーズ」

#### 坂上商店(お酒・味噌)

およそ100年前に新潟から上京してお店を始めたというこのお店では、お酒やお醤油の販売、そしてお味噌の量り売りをおこなっています。



#### としちゃん(駄菓子)

無数に並ぶ駄菓子の数々。その中でご主人の一番好きな駄菓子がクイズ問題に。正解は『わさびのり太郎』でした。



### としちゃん(駄菓子)

子どもが大好きな駄菓子屋さん。お店の奥にはもんじゃ焼きやお好み焼きが食べられるスペースがあることを発見しました。子どもには大人気のお店ようです。



### 瀬田生花店



60年以上の歴史があるこのお店のご主人は3代目。お花を通して季節を感じてほしいという

お店の想いの通り、この日はお店いっぱい春の香りがしました。

### 前田園(お茶)

昭和21年からあるこのお茶屋さんでは、静岡県産のお茶を販売しています。子どもたちは、ご主人からおいしいお茶をいれていただきました。



### むさしのあられ山口商店

大正15年創業のお店です。クイズ問題となった『あられの原料は?』の答えには、初めて知ったという大人のスタッフもいました。



### 坂上商店(お酒・味噌)

こんなにたくさんのお味噌の種類があることに驚く子どもたち。お薬や防腐剤を使わず多くの人に美味しいお味噌を食べてほしいというお店の人の想いが伝わりました。



### 竹澤商店(仏具)



大正13年に寺社の建築彫刻をしていた今のご主人の祖父がお店を始めました。この日ご主人は、作成中の仏像レリーフをみせていただきました。

### ゴール後



各商店から子どもたちにプレゼント!



↑ 佐藤さん

ゴールした子どもたちは、それぞれにミッションクリアのための文字並べをおこなった後、探検したお店にお礼のメッセージを書きました。各グループの隊長からは『お店の歴史を教わって勉強になった』、『いつも通っていても入ったことがないお店に入ることができてうれしかった』と発表がありました。最後に東京ほくと医療生協の佐藤草さんから「商店街を好きになってね!」と閉会のご挨拶があり、この日のツアーは終了しました。



### ～企画を終えて～

いつも身近にある商店街でこのツアーを通してたくさんの発見があった子どもたちが、これから商店街を大好きになり家族やお友達と一緒に利用することで、商店街はさらに明るくなっていくでしょう。今後もまちづくりとして何ができるかを考えていきたいと思ひます。